

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

アジア経済概況（2006年4月）

【目次】

・中華圏・韓国

- 1 . 中国経済の概況・・・内外需の堅調を背景に景気の拡大が続く ... p.1
- 2 . 中国の主要指標解説：拡大が予想される中国の対外直接投資 ... p.3
- 3 . 台湾経済の概況・・・輸出の堅調を背景に景気の回復が続く ... p.4
- 4 . 韓国経済の概況・・・輸出堅調と内需持ち直しで緩やかに景気回復 ... p.5

・ASEAN・インド

- 1 . タイ経済の概況・・・輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復続く ... p.6
- 2 . インドネシア経済の概況・・・輸出の堅調から景気の底堅さ増す ... p.7
- 3 . マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ... p.8
- 4 . インド経済の概況・・・内外需の堅調を背景に景気拡大が続く ... p.9
- 5 . ASEAN経済の注目点・・・拡大が期待される中国との投資交流 ... p.10

- ・アジア通貨・株価動向 ... p.12



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

調査部

【お問い合わせ先】海外経済班

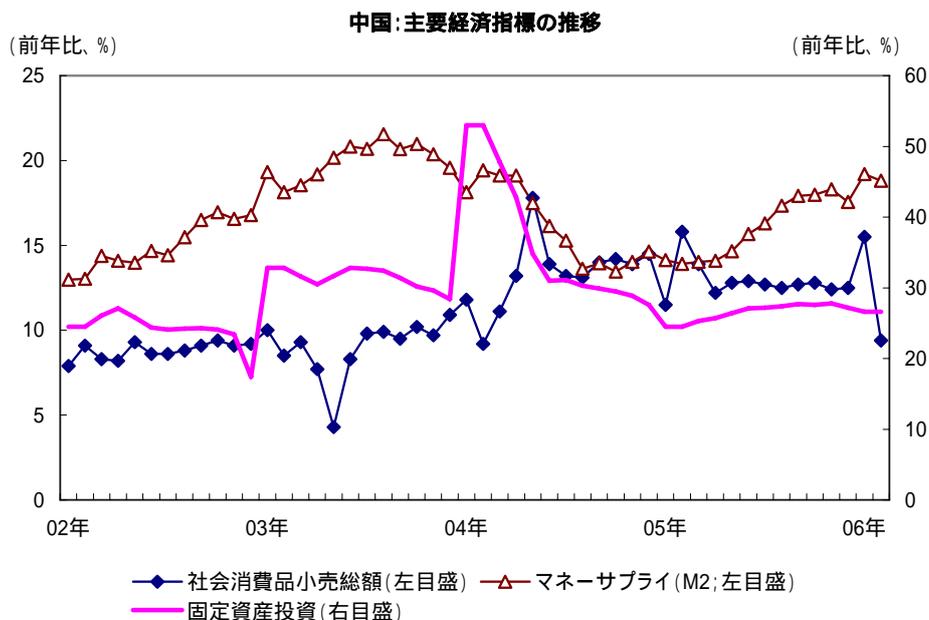
野田（E-Mail：mariko.noda@murc.jp）

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

. 中華圏・韓国

1 . 中国経済の概況

- ・ 内外需の堅調を背景に景気の拡大が続いている。05年2月の社会消費品小売総額は前年同月比9.4%増と前月（同15.5%増）に比べて大幅に鈍化したが、これは春節（旧正月）の影響（今年は1月始まりだが昨年は2月中）と見られる。春節の影響を除くため1~2月ベースで見ると前年同期比12.5%増と昨年来の堅調なペースが続いていることがわかる。中でも自動車販売が好調だが、この一因には4月以降の消費税率引き上げ（排気量2000cc以上）前の駆け込み購入もあるようだ。
- ・ 固定資産投資も全体としては堅調に推移しているが、業種ごとにかなりばらつきが見られるようになってきている。例えば、設備過剰業種のひとつに指定され、調整の加速が促されている鉄鋼業の投資は、1~2月には前年同期比0.9%減と大幅に減速している。
- ・ 1~3月の輸出は先進国向け、並びに近隣アジア諸国向けの輸出好調を背景に前年同期比26.5%増と堅調に推移している。また、輸入も機械・輸送機械、鉱物油などを中心に同24.9%増と拡大が続いている。
- ・ 一方、消費者物価上昇率は1月には春節期の食品需要の高まりから食品価格を中心に前年同月比1.9%に加速したが、2月には同0.9%に低下した（1~2月期平均では前年同期比1.4%）。
- ・ 3月半ば以降、人民元の対ドル相場の日々の変動幅はこれまでよりやや大きく、かつ上昇テンポもやや加速しており、1ドル=8.00元割れも視野に入ってきている。



(注) 固定資産は年初からの累計の前年比、04年以降は都市部・投資額50万元以上のみ。
 (出所) CEIC 他

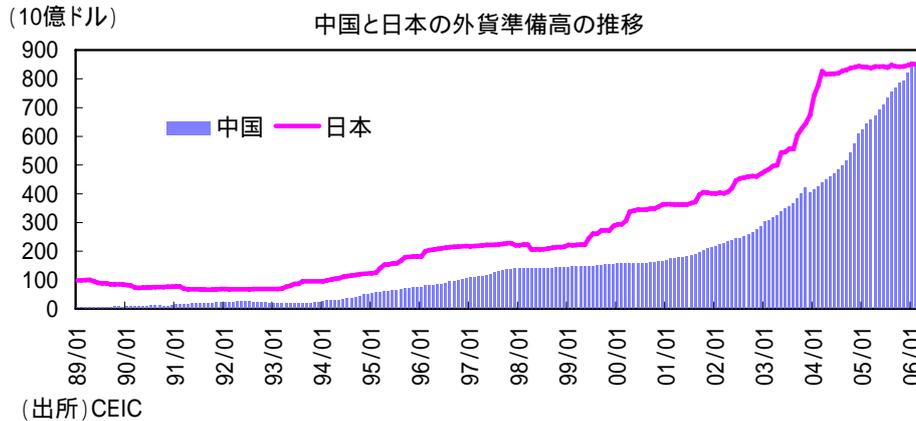
【中国・香港の主要経済指標】

			2003年	2004年	2005年	05/2Q	05/3Q	05/4Q	06/1Q	05/12月	06/1月	06/2月	06/3月	
中国	GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	10.0	10.1	9.9	10.1	9.8	9.9					
		名目GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	12.9	17.7	14.0	14.7	14.1	14.0					
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	9.0	13.3	12.9	12.6	12.6	12.6		12.5	15.5	9.4	
		うち市	前年比%	14.9	20.6	15.5	13.7	13.6	13.3		13.2	16.8	9.5	
		うち県	前年比%	12.7	18.6	13.4	11.0	10.6	12.3		12.3	12.2	8.9	
		うち県以下	前年比%	9.2	12.8	12.2	10.3	10.6	10.5		10.6	13.4	9.2	
		自動車販売台数	前年比%	33.5	16.9	13.8	19.3	15.5	20.8	36.7	27.6	44.8	50.7	23.9
		うち乗用車	前年比%	71.5	19.3	21.5	26.6	32.0	35.8	66.6	33.8	93.2	75.6	43.3
		消費者自信指数	期中平均	93.1	92.9	94.2	94.5	94.4	93.9	94.1	94.3	94.5	93.6	94.2
		消費者期待指数	期中平均	92.4	91.7	95.1	95.2	95.3	95.4	96.1	95.9	95.8	95.9	96.7
	投資	固定資産投資 (都市部・50万円以上; 累計ベース)	前年比%	28.4	27.6	27.2	27.1	27.7	27.2		27.2		26.6	
		うち不動産・居住用建物	前年比%	29.7	25.3	19.6	20.0	19.5	19.6		19.6		24.3	
		うち国内企業	前年比%				27.7	28.4	28.5		28.5		27.3	
		うち製造業	前年比%				35.1	36.1	38.6		38.6		35.4	
		うち鉄鋼	前年比%				18.6	23.4	27.5		27.5		0.9	
		うち輸送機械	前年比%				46.9	47.7	51.1		51.1		53.1	
		うち電気機械	前年比%				56.3	51.5	44.9		44.9		35.8	
		うち情報通信機器	前年比%				32.3	19.1	18.2		18.2		36.7	
		直接投資契約額 (累計ベース)	前年比%	39.0	33.4	23.2	19.0	21.8	23.2		23.2			
		直接投資実行額 (累計ベース)	前年比%	1.4	13.3	0.5	3.2	2.1	0.5		0.5	11.0	7.8	
不動産景気指数	期中平均	107.1	105.8	101.9	101.8	101.8	101.0		100.9					
貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	10億ドル	25.4	32.8	102.1	23.3	28.7	33.6	23.1	11.0	9.5	2.4	11.2	
	輸出 (ドルベース)	前年比%	34.6	35.4	28.4	30.9	29.1	21.7	26.5	18.2	28.0	22.2	28.2	
	輸入 (ドルベース)	前年比%	39.9	35.8	17.7	16.0	19.6	22.1	24.9	22.2	25.4	29.5	21.3	
	対米貿易収支	10億ドル	58.6	80.3	114.2	27.7	32.1	33.0	28.6	10.4	10.1	7.5	11.0	
	対日貿易収支	10億ドル	14.8	20.7	16.4	3.1	5.1	5.4	4.0	2.2	0.6	1.8	1.6	
	外貨準備	期末10億ドル	403.3	609.9	818.9	711.0	769.0	818.9		818.9	845.2	853.7		
生産	鉱工業付加価値額	前年比%	16.7	16.3	15.9	16.5	16.2	16.4		16.5	9.8	20.1		
	うち国有企業	前年比%	14.1	13.7	10.7	11.1	11.2	9.6		10.3	5.1	12.4		
	うち株式企業	前年比%	18.0	16.6	17.3	18.8	17.7	16.9		16.8	10.6	20.2		
	うち外商・港台澳企業	前年比%	19.6	18.5	15.8	15.1	16.7	17.6		16.8	10.3	24.9		
	在庫額	前年比%	10.1	20.2	21.0	20.3	21.5	21.0		18.6		21.1		
	うち鉱物	前年比%	2.8	20.8	42.4	39.0	40.6	45.0		41.2		45.0		
	うち素材	前年比%	8.6	25.4	27.1	25.7	29.2	27.8		23.5		24.1		
	うち機械	前年比%	17.9	19.5	16.7	16.4	16.2	15.5		13.9		16.1		
発電量	前年比%	14.2	15.0	13.4	13.7	13.6	11.8		16.3	7.8	22.5			
所得 雇用	都市家庭一人当たり所得	前年比%	12.0	11.8	11.8	12.4	12.4	10.8		11.1	16.4	10.1		
	鉱工業雇用者数	前年比%	11.9	7.2	8.8	9.3	10.3	10.6		11.2	11.4	11.4		
	労働力市場求人倍率	期末	0.88	0.94	0.96	0.95	0.97	0.96						
	製造業/全産業求人比率	期末%	31.6	31.9	30.8	31.9	32.0	30.8						
物価	消費者物価指数	前年比%	1.2	3.9	1.8	1.7	1.3	1.4		1.6	1.9	0.9		
	うち食品	前年比%	3.4	10.0	2.9	2.7	1.2	1.7		2.2	3.6	1.2		
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	2.6	1.4	0.1	0.3	0.2	0.5		0.6	0.6	0.6		
	生産者物価指数	前年比%	2.3	6.1	4.9	5.6	5.0	3.5		3.2	3.1	3.0		
金融	マネーサプライ (M2)	前年比%	19.6	14.9	17.6	15.7	17.9	17.6		17.6	19.2	18.8		
	インターバンク金利 (翌日物)	期中平均%	2.17	2.11	1.43	1.25	1.21	1.36	1.46	1.54	1.56	1.35	1.47	
	株価指数 (上海総合)	期末	1,497	1,267	1,161	1,081	1,156	1,161	1,298	1,161	1,258	1,299	1,298	
	為替レート (元/ドル)	期中平均	8.28	8.28	8.19	8.28	8.14	8.08	8.05	8.08	8.07	8.05	8.04	
	為替レート (円/元)	期中平均	14.0	13.1	13.4	13.0	13.7	14.5	14.5	14.7	14.3	14.6	14.6	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	3.2	8.6	7.3	7.3	8.3	7.6					
		うち民間消費	前年比%	0.9	7.3	3.7	2.7	4.1	3.7					
		うち固定資本形成	前年比%	0.9	3.0	3.9	4.9	2.8	7.5					
	名目GDP成長率	前年比%	3.4	4.7	7.0	6.7	8.5	7.9						
	消費	小売販売数量指数	前年比%	0.6	9.1	5.9	6.5	5.1	4.4		5.9	10.5	4.9	
	不動産	不動産価格指数	前年比%	12.0	26.7	17.9	22.5	20.3	7.8		7.2	5.4	0.2	
		うち家屋160㎡超 (香港島)	前年比%	0.2	44.9	21.5	38.0	20.7	7.1		12.0	36.7	5.2	
		不動産販売取引件数 (香港域内)	前年比%	2.8	40.6	2.7	57.3	9.4	31.7		45.8	38.1	35.0	
	貿易	貿易収支	10億HKドル	66.5	93.7	81.4	26.6	11.3	17.4		16.9	4.4	23.0	
		輸出 (香港ドルベース)	前年比%	11.6	15.8	11.4	12.5	12.5	10.0		6.7	4.2	20.5	
	輸入 (香港ドルベース)	前年比%	11.6	16.8	10.3	10.1	11.5	11.3		10.6	0.6	28.3		
物価	消費者物価指数	前年比%	2.6	0.4	1.1	0.8	1.4	1.8		1.8	2.6	1.6		
金融	マネーサプライ (M3)	期末%	8.3	8.6	5.2	8.2	8.2	5.2		5.2	6.8	8.8		
	ハンセン指数	期末%	12,576	14,230	14,876	14,201	15,429	14,876	15,805	14,876	15,753	15,918	15,805	

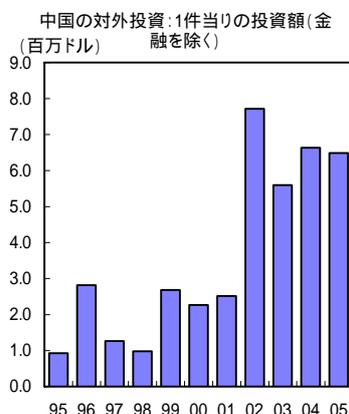
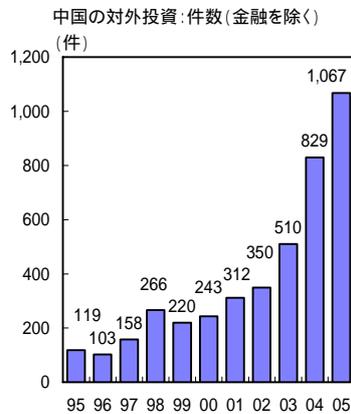
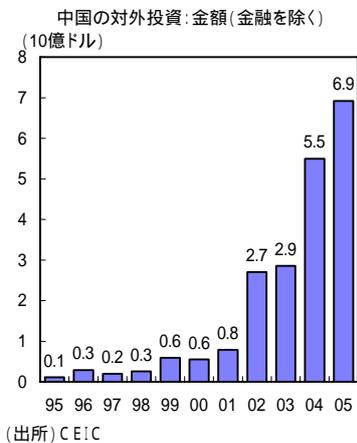
(出所) CEIC 他 (注) 不動産景気指数は05年より基準が改訂され、それ以前とは不連続。

2. 中国の主要指標解説：拡大が予想される中国の対外直接投資

- 4月3日、温家宝首相は外遊先のオーストラリアで2月末の中国の外貨準備高が8536億ドルと日本(2月末8501億ドル)を抜き世界一になったと発表した(その後発表された3月末時点の日本の外準は8520億ドルにとどまっており、当面中国が外準世界一の座を維持すると見られている)。

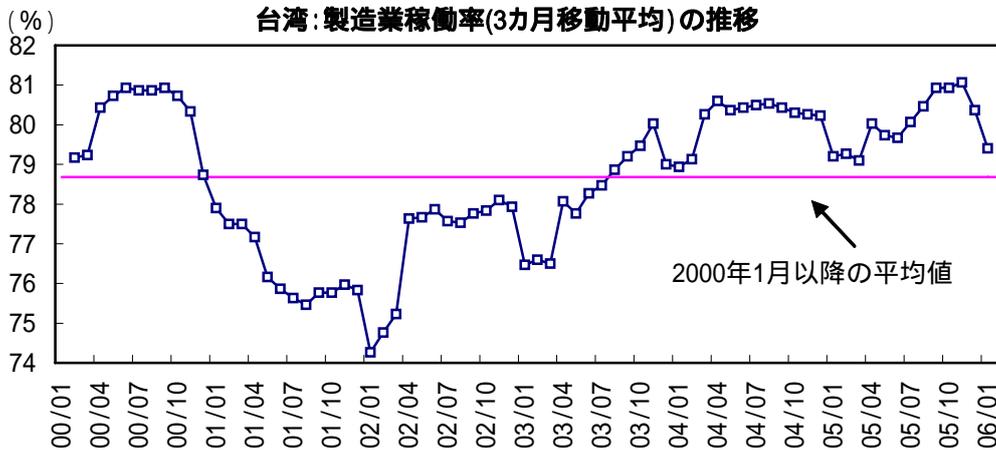


- こうした中で、今後、国内に流入する外貨の海外への還流策の一環として、中国企业による対外直接投資が活発化することが予想される。中国では、WTO加盟(2001年12月)を控えた2000年に先進技術並びに資源の獲得のための「走出去(対外進出促進)」方針が打ち出された。その後2002年に海外投資規制が緩和されて以降、対外投資は急速に拡大している。05年実績は投資総額で前年比26%増の69億ドル、件数は同29%増の1,067件であった。
- 海外から中国への直接投資(実行ベース)が05年実績で600億ドルを上回っているのに比べると、中国の対外直接投資の規模はその1割程度と依然として小さなものとどまっている。しかし、今後、潤沢な外貨準備を背景に対外投資に拍車がかかれば、中国はいずれ資本輸出国としても台頭することになる。



3. 台湾経済の概況

- ・ 輸出の堅調を背景に景気回復が続いている。06年1~3月期の輸出は前年同期比11.8%増と前期(同14.2%増)よりやや鈍化したものの、前年比二桁増を維持している。実際、1~2月期の輸出受注は前年同期比22.4%増と高い伸びが続いており、1~2月期の鉱工業生産も同8.6%と堅調であった。また、2月の景気対策信号は28ポイントと7ヶ月連続で「緑(安定)」信号が点灯している。先行きのリスク要因はクレジットカード債務問題の深刻化に伴う消費の減速であるが、これまでのところ輸出・生産の好調がこれを上回り、景気回復が続いている。
- ・ 台湾中銀は3月30日、原油価格が高止まりしているうえ、実質金利水準が低く、稼働率も依然として高い水準で推移しているなど、引続きインフレ圧力が続いているとの判断から公定歩合を0.125%ポイント引き上げ、2.375%とした。



(出所)CEIC

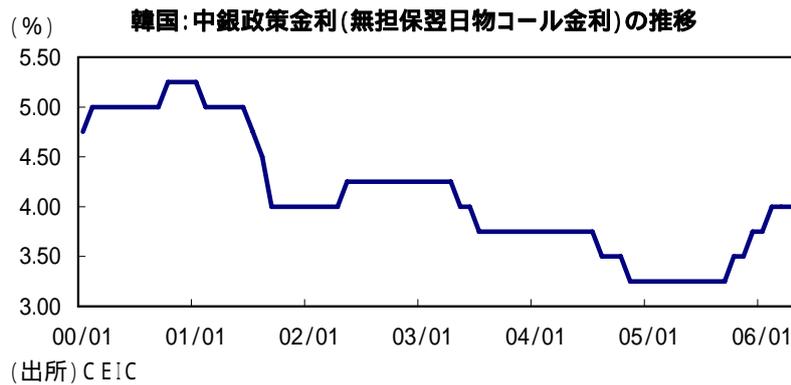
台湾の主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	05/12月	06/1月	06/2月	06/3月
GDP (yoy)	実質GDP	3.4	6.1	4.1	3.0	4.4	6.4					
	うち民間消費	0.9	3.9	3.0	3.0	3.7	2.8					
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	0.9	17.5	0.5	7.4	0.3	11.8					
生産	鉱工業生産(yoy)	7.1	9.8	4.1	1.5	4.8	9.1		9.3	4.1	14.1	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	16.9	6.1	7.8	0.1	1.5	5.9	1.4	2.9	1.6	1.2	0.9
	輸出(yoy)	10.4	20.7	8.8	6.0	7.1	14.2	11.8	15.4	5.1	25.9	8.0
	輸出受注(yoy)	12.6	26.5	19.2	15.1	17.8	23.4		24.2	20.0	25.1	
	輸入(yoy)	13.1	31.9	8.2	10.6	9.8	0.9	9.3	10.9	6.9	47.1	0.6
	経常収支(10億ドル)	29.3	18.5	16.4	1.7	1.0	9.2					
	外貨準備高(10億ドル)	207	242	253	254	254	253	257	253	257	257	257
雇用	失業率	5.0	4.4	4.1	4.1	4.3	4.0		3.9	3.8	3.9	
物価 金融	消費者物価(yoy)	0.3	1.6	2.3	2.1	3.0	2.5	1.4	2.2	2.7	1.0	0.4
	M2(yoy)	5.8	7.4	6.5	6.7	6.4	6.5		6.5	7.5	6.4	
	株価指数(加権指数)	5,891	6,140	6,548	6,242	6,119	6,548	6,614	6,548	6,532	6,562	6,614
	短期金利(オーバーナイト)	1.12	1.04	1.30	1.27	1.34	1.39	1.45	1.41	1.45	1.45	1.45
	為替レート(NTドル/ドル)	34.4	33.4	32.2	31.4	32.3	33.5	32.3	33.3	32.1	32.4	32.5
	為替レート(円/NTドル)	3.37	3.24	3.42	3.42	3.44	3.50	3.62	3.56	3.60	3.64	3.61

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算しない旧ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 輸出の堅調持続を背景に、緩やかな景気回復が続いている。
- ・ 3月の輸出は自動車及び同部品、半導体などを中心に前年同月比12.4%増と堅調に拡大。1～3月期でも前年同期比10.7%増と二桁増が続いた。輸出の増勢持続を背景に鉱工業生産も堅調に推移。2月は前年同月比20.0%増、旧正月要因を勘案した1～2月ベースでも前年同期比12.6%増と好調が続いている。
- ・ 一方、消費は回復基調にはあるものの、雇用回復の遅れもあり、依然として力強さに欠ける状況が続いている。1～2月期の小売売上数量は前年同期比3.5%増にとどまっている。
- ・ 韓国中銀は4月7日、ウォン高もあり物価が安定的に推移していることから先月に引続き政策金利（無担保翌日物コール金利）の4.0%据え置きを決めた。ただし、中銀は景気回復、原油価格の高止まりからインフレ圧力は続いていると見ており、5月以降の追加利上げの可能性が示唆されている。



韓国の主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	05/12月	06/1月	06/2月	06/3月
GDP (yoy)	実質GDP	3.1	4.7	4.0	3.3	4.5	5.3					
	うち民間消費支出	1.2	0.3	3.2	3.1	4.0	4.1					
	うち固定資本形成	4.0	2.1	2.3	1.8	2.3	4.7					
	うち設備	1.2	3.8	5.1	2.4	4.6	10.0					
生産	鉱工業生産(yoy)	5.3	10.2	6.2	3.5	7.2	10.4		11.3	6.4	20.0	
消費	小売売上高(数量,yoy)	1.8	0.7	3.6	3.3	3.3	6.0		9.0	9.5	2.6	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	15.0	29.4	23.2	6.0	4.9	6.1	1.9	1.4	0.3	0.4	1.2
	輸出(yoy)	19.3	31.0	12.0	9.0	15.4	11.4	10.7	10.5	3.6	16.6	12.4
	輸入(yoy)	17.6	25.5	16.4	15.2	21.1	14.6	18.9	15.4	18.0	27.1	12.9
	経常収支(10億ドル)	11.9	28.2	16.6	2.6	2.6	5.4		0.5	0.1	0.8	
	外貨準備高(10億ドル)	155	199	210	205	207	210	217	210	217	216	217
雇用	失業率(季節調整済み)	3.4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3		3.4	3.5	3.9	
物価	消費者物価(yoy)	3.5	3.6	2.8	3.0	2.4	2.5	2.4	2.6	2.8	2.3	2.0
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	3.0	4.9	6.7	6.0	5.9	6.7		6.7	6.5	6.6	
	株価指数(総合)	811	896	1,379	1,008	1,221	1,379	1,360	1,379	1,400	1,372	1,360
	為替レート(ウォン/ドル)	1,192	1,140	1,023	1,010	1,032	1,031	972	1,013	971	969	976
	為替レート(円/100ウォン)	9.6	9.5	10.8	10.7	10.9	11.4	12.1	11.7	12.1	12.0	12.1
	C/Dレート(3ヵ月物)	4.31	3.79	3.65	3.51	3.57	3.98	4.22	4.04	4.15	4.25	4.27

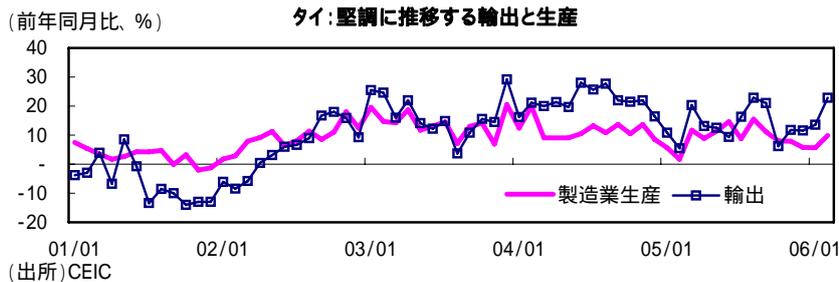
(出所)CEIC

(注)yoy=前年比(%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・ 輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復が続いている。2月の輸出は電子・電気製品、自動車及び同部品などを中心に前年同月比 22.9%増となった。輸出の好調を背景に鉱工業生産も2月は同 9.9%増に拡大。民間企業投資も2月、同 4.8%増と堅調であった。一方、輸入は原油高から同 18.5%増と高水準で推移。貿易収支は赤字基調が続いている。
- ・ 2月の総合消費指数はガソリン、ガソール(ガソリン代替燃料)の消費量減少、昨年好調の反動による二輪車販売の低迷などから前年同月比0.1%減となったものの実態それほど悪くないと見られる。政局混迷の影響で消費者マインドの悪化が続いているがこれまでのところ消費への影響は軽微にとどまっている。
- ・ タイ中銀は4月10日、景気回復の足取りが着実さを増している中で、実質マイナス金利是正のため、政策金利の引き上げ(4.50% 4.75%)を実施した。



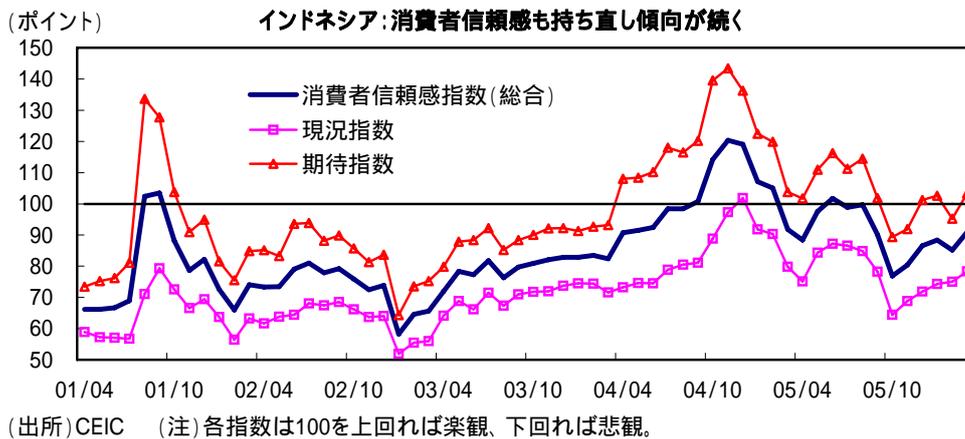
タイの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	05/12月	06/1月	06/2月	06/3月
GDP (yoy)	実質 GDP	7.0	6.2	4.5	4.6	5.4	4.7					
	民間消費	6.4	5.9	4.4	4.7	4.5	4.0					
	総固定資本形成	12.1	13.8	11.3	14.3	8.4	7.9					
生産	製造業生産指数(yoy)	13.9	11.7	9.2	11.6	11.7	7.2	5.8	5.7	9.9		
消費	総合消費指数(yoy)	5.3	4.0	0.7	1.1	0.4	1.0	2.2	0.7	0.1		
投資	民間企業投資指数(yoy)	13.8	11.7	7.9	10.5	8.8	4.4	5.4	3.6	4.8		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	5.2	2.7	7.7	5.2	0.7	0.3	0.1	0.4	0.3		
	輸出(yoy)	16.4	21.8	13.5	11.6	20.1	9.8	11.5	13.6	22.9		
	輸入(yoy)	16.6	26.6	24.8	34.0	18.7	18.7	27.1	1.8	18.5		
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.0	6.9	3.7	4.5	1.2	0.9	0.4	0.5	0.7		
	外貨準備高(10億ドル)	42.1	49.8	52.1	48.4	49.8	52.1	55.3	52.1	53.2	54.4	55.3
雇用	失業率(季調前)	2.2	2.1	1.9	2.0	1.4	1.5	1.4	2.2	1.6		
物価	消費者物価(総合,yoy)	1.8	2.8	4.5	3.7	5.6	6.0	5.7	5.8	5.9	5.6	5.7
	消費者物価(コア,yoy)	0.1	0.4	1.6	1.1	2.2	2.4	2.6	2.6	2.5	2.7	2.6
金融	M2-サプライ(M2,yoy)	4.9	5.4	8.2	3.3	6.6	8.2	8.2	10.7	10.1		
	商銀貸出残高(yoy)	3.6	6.7	8.1	4.2	4.1	8.1	8.1	8.3	7.6		
	不良債権比率(3M基準,%)	12.7	10.7	8.2	10.3	9.9	8.2					
	株価指数(SET)	772	668	714	676	723	714	733	714	763	744	733
	為替レート(円/バーツ)	41.5	40.2	40.2	40.0	41.3	41.0	39.3	41.0	39.6	39.4	38.9
	為替レート(円/バーツ)	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7	2.9	3.0	2.9	2.9	3.0	3.0
インターバンク金利(3M)	1.56	1.62	3.28	2.68	3.53	4.37	4.82	4.50	4.60	4.75	5.10	

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ 輸出の堅調もあり、景気は徐々に底堅さを増している。2月の非石油・ガス輸出は電子機器、動植物油脂、ゴム・ゴム製品などを中心に前年同月比 13.5%増と堅調に推移した。1-2月ベースでは前年同期比 14.8%増と前期（10-12月期）の同 10.7%増から加速している。
- ・ 昨年10月の燃料価格の大幅引き上げを契機とする高インフレと高金利から消費の減速が続いているが、景気の持ち直し、所得・雇用の回復期待などから消費者マインドの改善が続いている。実際、公務員給与の引き上げ、貧困層向け補助金支給が実施されたほか電気料金の年内引き上げが見送られたこともあり、消費環境は徐々に改善している。
- ・ 中銀は4月5日、インフレと資本流出抑制のため政策金利の 12.75%据え置きを決めたが、景気の安定度が増せば利下げに転じる可能性があることも示唆した。



インドネシアの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	05/12月	06/1月	06/2月	06/3月
GDP (yoy)	実質GDP	4.8	5.1	5.6	5.6	5.6	4.9					
	民間消費支出	3.9	5.0	4.0	3.8	4.4	4.2					
	総固定資本形成	0.6	14.6	9.9	15.6	9.4	1.8					
生産	製造業生産(yoy)	5.5	3.3	3.9	3.8	0.4	5.2					
消費	小売売上(yoy)	7.0	7.3	16.2	27.3	10.6	1.6		1.3	21.4	21.1	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	28.5	25.1	28.0	6.0	6.6	9.1		3.2	3.2	2.8	
	輸出(yoy)	6.8	17.2	19.7	24.2	12.0	13.9		22.6	22.5	15.2	
	(除く石油ガス,yoy)	5.2	18.0	18.8	26.9	8.1	10.7		19.2	16.1	13.5	
	輸入(yoy)	4.0	42.9	24.0	38.3	22.8	6.3		1.7	3.6	5.3	
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.1	3.1	3.0	0.9	0.1	1.3					
	外貨準備高(10億ドル)	36.3	36.3	34.7	33.9	30.3	34.7		34.7	35.1	35.5	
物価	消費者物価(yoy)	6.8	6.1	10.5	7.6	8.4	17.8	16.9	17.1	17.0	17.9	15.7
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	8.1	8.1	16.4	10.1	16.6	16.4		16.4	17.2		
	株価指数(総合)	692	1,000	1,163	1,122	1,079	1163	1323	1,163	1,232	1,231	1,323
	為替レート(北アドル)	8,571	8,985	9,751	9,593	10,123	9,985	9,233	9,830	9,395	9,230	9,075
	為替レート(円/100北ア)	1.35	1.20	1.13	1.12	1.10	1.17	1.27	1.21	1.23	1.28	1.29
	中銀債金利(3ヵ月)	10.17	7.39	9.16	7.79	8.98	12.58	12.86	12.83	12.92	12.92	12.73

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	05/12月	06/1月	06/2月	06/3月
GDP (yoy)	実質GDP	5.4	7.1	5.3	4.4	5.3	5.2					
	民間消費	6.6	10.5	9.2	7.4	10.4	9.0					
	総固定資本形成	2.7	3.1	4.7	6.7	9.6	0.4					
生産	鉱工業生産(yoy)	9.3	11.3	4.0	2.3	3.3	5.1		4.2			
輸出入	貿易収支(10億ドル)	21.4	21.2	26.4	6.0	6.2	7.6		2.5	2.3	2.0	
	輸出(yoy)	11.6	20.5	11.4	10.8	8.3	13.3		13.2	10.6	15.1	
	輸入(yoy)	4.8	25.9	8.9	8.0	9.4	8.1		8.1	9.3	17.9	
国際収支	経常収支(10億ドル)	13.3	14.9	19.9	17.9	18.8	17.8					
	外貨準備高(10億ドル)	45	67	70	75	80	70	74	70	71	72	74
雇用	失業率(%)	3.6	3.6	3.6	3.1	3.8	3.8					
物価	消費者物価(yoy)	1.1	1.4	3.1	3.0	3.4	3.4		3.5	3.2	3.2	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	11.1	25.4	15.4	32.2	24.2	15.4		15.4	16.6	17.4	
	貸出残高(yoy)	5.2	26.0	17.5	35.2	27.0	17.5		17.5	23.0	23.2	
	不良債権比率(3M基準,%)	8.9	7.5	5.8	6.7	6.1	5.8		5.8	5.9	5.9	
	株価指数(総合)	794	907	900	888	928	900	927	900	914	929	927
	為替レート(リキ/\$)	3.80	3.80	3.79	3.80	3.77	3.78	3.73	3.78	3.75	3.73	3.70
	為替レート(円/リキ)	30.5	28.5	29.1	28.3	29.5	31.0	31.4	31.4	30.8	31.6	31.7
	インターバンク金利(3M,%)	2.88	2.84	2.87	2.82	2.88	3.00	n.a.	3.15	3.21	n.a.	n.a.

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

【フィリピンの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	05/12月	06/1月	06/2月	06/3月
GDP (yoy)	実質GDP	4.5	6.0	5.1	5.2	4.5	6.1					
	民間消費支出	5.3	5.8	4.9	4.8	4.8	5.2					
	固定資本形成	2.3	4.2	3.0	3.9	2.1	1.4					
生産	鉱工業生産(yoy)	0.0	1.0	2.1	1.5	0.2	6.0		0.1	2.8		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	4.2	4.4	6.2	2.2	1.7	1.3		0.4	0.4		
	輸出(yoy)	2.9	9.5	4.0	3.6	5.0	3.5		16.8	0.8	9.8	
	輸入(yoy)	3.1	8.8	7.7	8.9	10.2	12.9		28.9	5.1		
国際収支	経常収支(10億ドル)	0.3	1.6	2.4	0.3	0.3	1.1		0.3			
	外貨準備高(10億ドル)	14.1	14.6	17.7	16.7	17.7	17.7		17.7	19.8	19.9	
物価	消費者物価(yoy)	3.5	6.0	7.7	8.2	7.1	6.9	7.3	6.7	6.7	7.6	7.6
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	3.3	9.4	9.0	13.4	14.3	9.0		9.0			
	株価指数(総合)	1,442	1,823	2,096	1,924	1,942	2,096	2,196	2,096	2,145	2,123	2,196
	為替レート(ペソ/ドル)	54.4	56.2	55.0	54.9	56.1	54.0	51.9	53.1	52.3	52.1	51.3
	為替レート(円/ペソ)	2.13	1.93	2.00	1.96	1.98	2.17	2.25	2.23	2.21	2.26	2.29
	TB(3ヵ月,%)	5.87	7.32	6.10	6.18	5.71	5.48	n.a.	5.20	4.91	5.16	n.a.

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

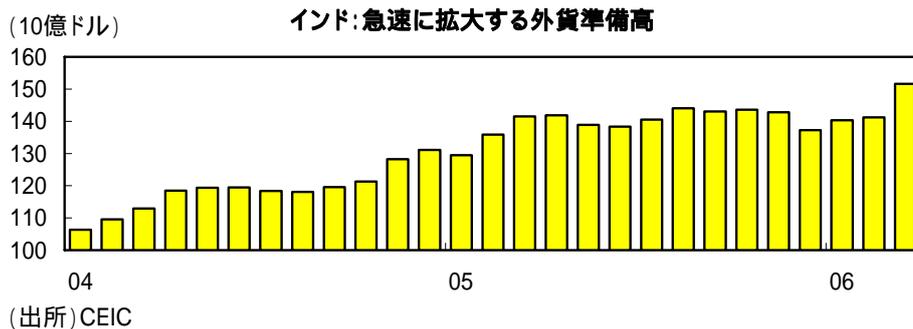
【シンガポールの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	05/12月	06/1月	06/2月	06/3月
GDP (yoy)	実質GDP	2.9	8.7	6.4	5.7	7.6	8.7	p 9.1				
	民間消費	0.9	5.9	2.5	2.1	1.2	4.0					
	総固定資本形成	3.2	10.2	1.9	6.4	6.8	15.0					
生産	鉱工業生産(yoy)	3.0	13.5	9.4	5.9	12.6	14.7		6.2	6.5	31.0	
消費	小売売上指数(yoy)	8.7	13.2	9.0	11.6	10.2	7.9		9.1	0.9		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	15.9	17.4	29.6	6.5	7.9	9.2		3.8	3.1	1.9	
	輸出(yoy)	16.9	25.0	25.5	25.2	27.3	22.5		22.6	18.2	30.1	
	輸入(yoy)	12.0	26.9	20.8	19.9	21.1	19.9		21.4	10.0	39.6	
国際収支	経常収支(10億ドル)	22.3	26.3	33.3	13.0	15.8	16.0					
	外貨準備高(10億ドル)	96	113	117	115	116	117	122	117	120	120	122
雇用	失業率(季調,%)	4.0	3.4	3.1	3.4	3.3	2.5					
物価	消費者物価(yoy)	0.5	1.7	0.5	0.1	0.5	1.1		1.3	1.7	1.2	
金融	マネーサプライ(M2,%)	8.1	6.2	6.2	4.6	8.3	6.2		6.2	6.6	8.3	
	株価指数(ストリート)	1,765	2,066	2,347	2,213	2,305	2,347		2,347	2,412	2,482	
	為替レート(\$/\$)	1.742	1.690	1.665	1.659	1.676	1.688	1.628	1.675	1.633	1.629	1.622
	為替レート(円/\$)	66.5	64.0	66.2	64.8	66.4	69.5	71.8	70.7	70.7	72.3	72.3
	インターバンク金利(3M,%)	0.74	1.05	2.29	2.08	2.15	3.02	n.a.	3.25	3.38	3.38	n.a.

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

4. インド経済の概況

- ・ 内外需の堅調を背景に景気の拡大が続いている。2月の鉱工業生産は消費財を中心に前年同月比8.8%増と前月（同8.3%増）からさらに伸び率が高まった。
- ・ 一方、4月7日の商工相の発表によれば、05年度（05年4月～06年3月）の総輸出額は前年度比26%増の1010億ドルと、初めて1千億ドル台の大台を突破した。ただし、輸入も原油価格高騰などから前年度比32%増の1400億ドルに拡大しており、貿易収支は約390億ドルの赤字を計上していると見られる。なお、インド政府は宝石類、自動車部品などの輸出拡大と新しい輸出市場の開拓によって今年度の輸出額を05年度比20%拡大させるとの目標を掲げている。
- ・ 他方、海外の投資家によるインド株投資の急拡大を背景にインドの外貨準備が大幅に拡大している。投資資金の流入を背景に、これによるルピー高抑制のための介入が外準拡大に寄与している。こうした中でインド中銀は外貨還流策の一環として資本勘定における為替管理規制の緩和計画を発表。国内に資本逃避に対する警戒感も根強い中、今後の展開が注目されている。



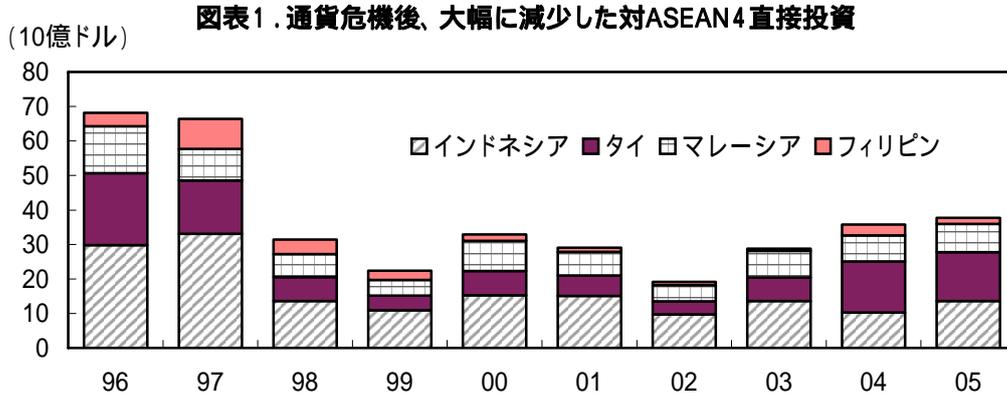
インドの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	05/12月	06/1月	06/2月	06/3月
GDP (yoy)	実質GDP	7.3	7.4	8.0	8.1	8.0	7.6					
	農業生産	5.2	2.8	2.3	1.4	2.4	3.4					
	実質GDP(年度)	8.5	7.5									
	農業生産(年度)	10.0	0.7									
生産	鉱工業生産(yoy)	6.6	8.5	7.9	10.4	6.5	7.0		5.3	8.3	8.8	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	13.7	21.7	38.5	10.2	11.1	9.1	9.0	2.7	2.9	3.2	2.9
	輸出(yoy)	16.7	31.5	18.7	23.2	22.1	11.1	18.4	16.2	21.5	12.3	20.6
	輸入(yoy)	26.0	36.5	31.8	35.6	38.1	14.0	16.8	8.4	10.7	21.4	18.7
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.8	1.4	12.9	4.6	5.1	3.9					
	外貨準備高(10億ドル)	97.6	125.2	131.0	132.4	136.9	131.0	145.1	131.0	133.8	134.8	145.1
物価	卸売物価(yoy)	5.3	6.6	4.7	5.3	4.0	4.5	4.1	4.4	4.1	4.2	4.1
	消費者物価(yoy)	3.8	3.8	4.2	4.0	3.7	5.0		5.6	4.4		
金融	M3(yoy)	13.0	12.8	17.9	13.7	18.1	17.9		17.9	16.4	16.2	
	株価指数(BSE Sensitive)	5,839	6,603	9,398	7,194	8,634	9,398	11,280	9,398	9,920	10,370	11,280
	為替レート(ルピー/ドル)	46.5	45.2	44.1	43.6	43.8	45.4	44.4	45.1	44.1	44.4	44.6
	為替レート(円/ルピー)	2.49	2.39	2.50	2.46	2.54	2.58	2.63	2.63	2.6	2.7	2.6
	TB3ヶ月	4.92	4.70	5.43	5.23	5.39	5.81	n.a.	6.11	6.69	6.69	n.a.

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、年度は4月から翌年3月

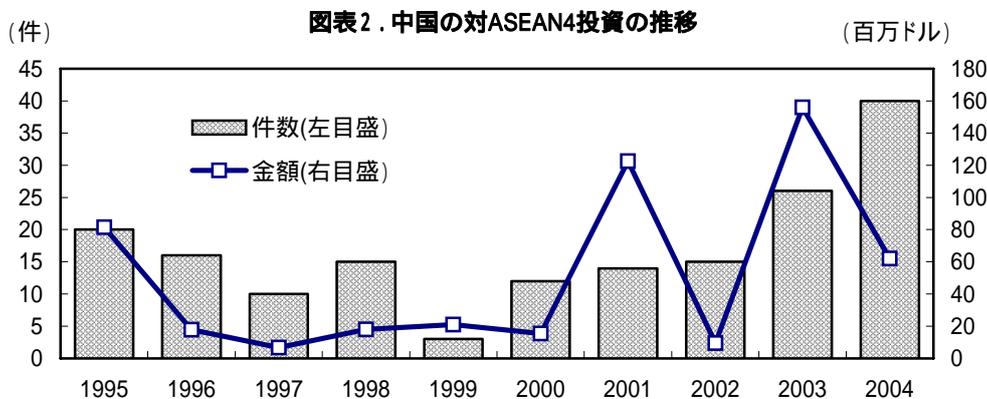
5 . A S E A N経済の注目点～拡大が期待される中国との投資交流

- ・ 通貨危機を契機に大幅に減少したA S E A N向け直接投資は、その後の景気回復を背景に足元で持ち直しの傾向が見られるが、危機以前の水準（A S E A N4カ国合計で約700億ドル）に戻るまでには至っていない（図表1）。



(出所)CEIC (注)各国の直接投資受入れ承認額を各年の平均ドルレートで換算。

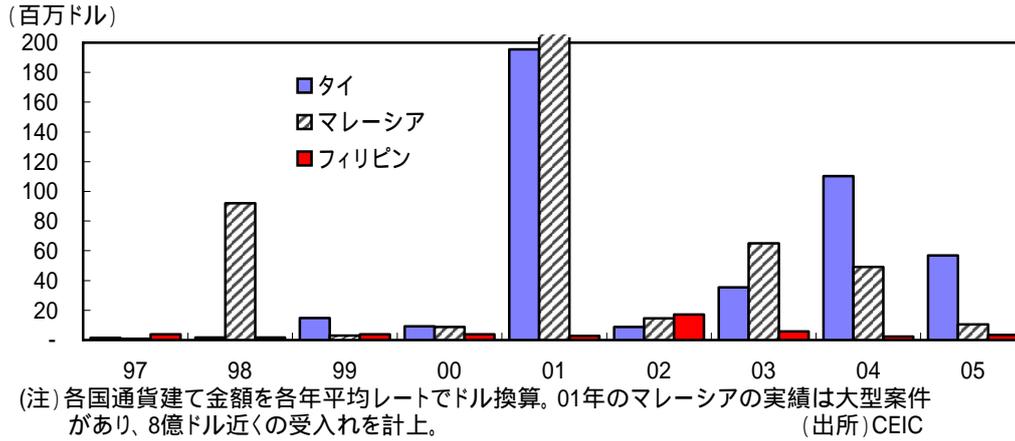
- ・ そのひとつの要因として指摘されるのが直接投資のA S E A Nから中国へのシフトである。既にA S E A N各国の産業蓄積はかなり進んでいると見られるが、一層の発展には引き続き直接投資の取り入れが欠かせない。実際、A S E A N自由貿易協定(A F T A)の締結などを通じた投資環境の改善努力は足元のA S E A Nの直接投資受入れ額の拡大に寄与していると見られる。
- ・ ところで、最近の注目材料はライバル中国からの投資を取り込もうとする動きである。中国の対外投資に占めるA S E A N 4の割合(金額ベース)は04年実績でも5%に過ぎないが、図表2からは緩やかながらも増加傾向にあることが見て取れる。



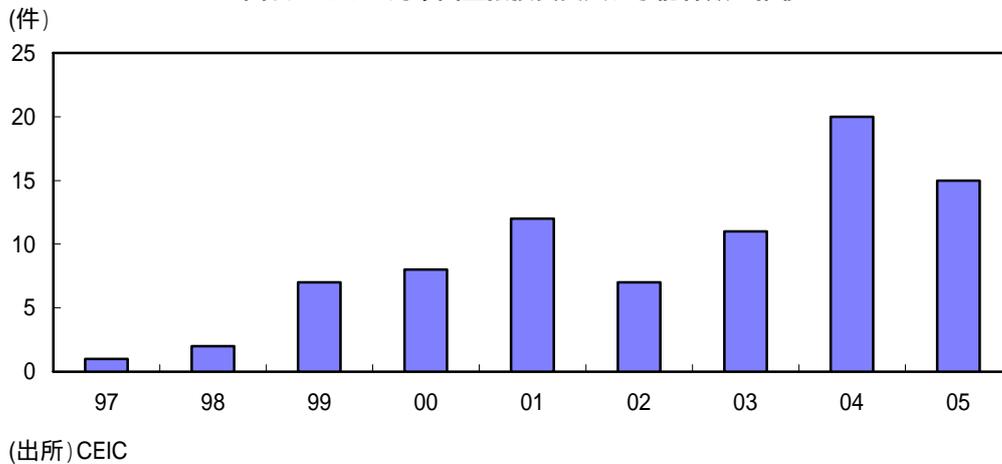
(出所)CEIC (注)ASEAN4はタイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン

- ・ また、A S E A N各国の直接投資受入れ統計（金額ベース）を見ると、中国からの直接投資受入れ額は05年実績でも各国とも1%未満にとどまっているものの、徐々に厚みが増しつつある様子がうかがえる（図表3、4）。
- ・ 中国との共存共栄を目指すA S E A N各国は今後、中国からの投資受入れ拡大という形で中国の活力を取り込んでいくのではないだろうか。

図表3 . ASEAN3の中国からの直接投資受入れ額の推移



図表4 . タイの対中国直接投資受入れ承認件数の推移

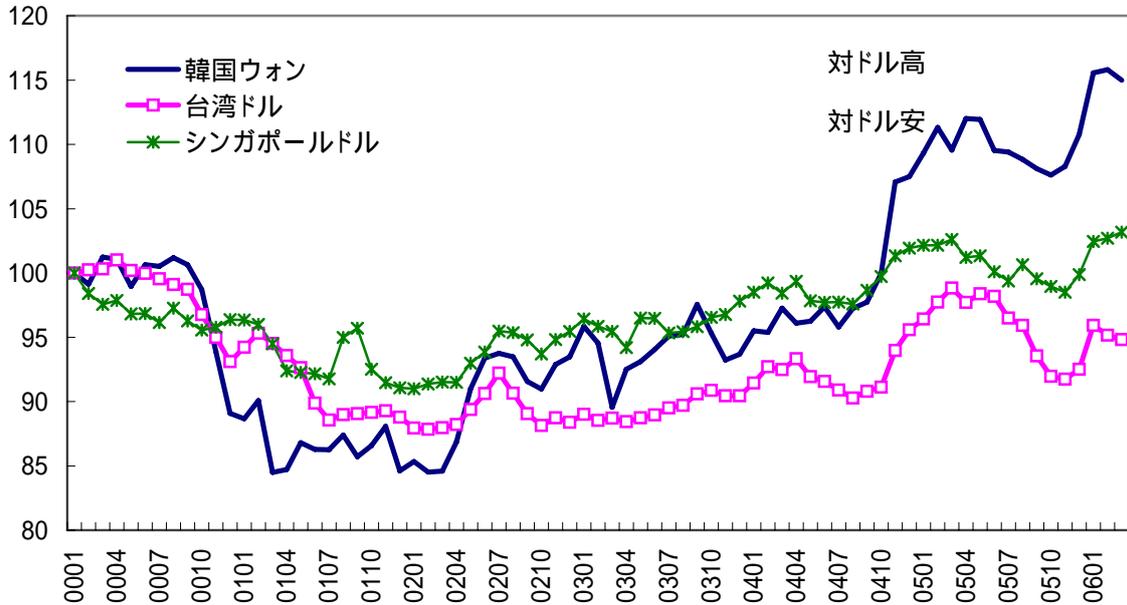


・アジア通貨・株価動向

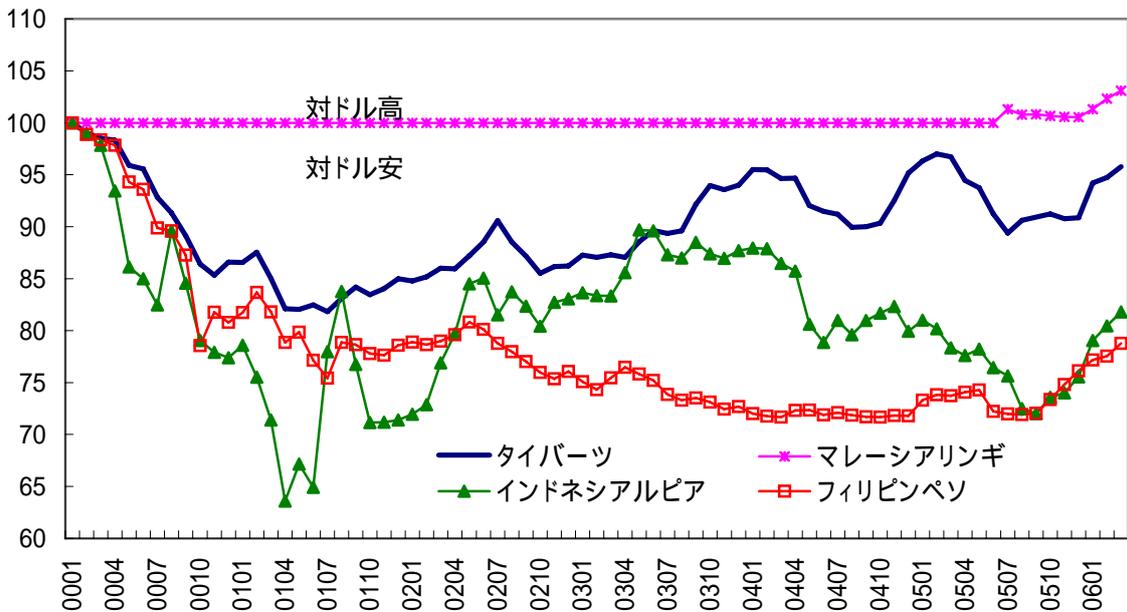
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

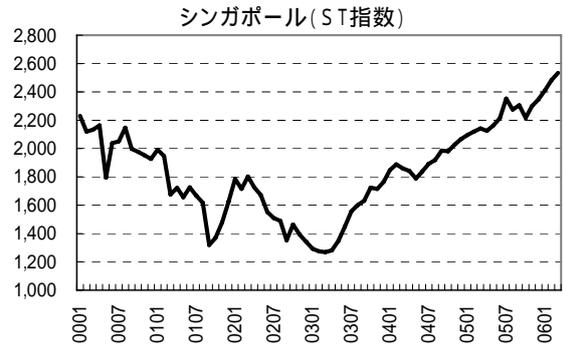
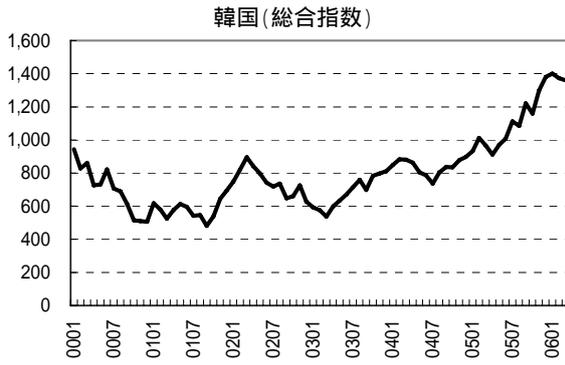


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向



(出所) CEIC